

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告

< 72 2012. 4. 1 > 連絡先 402-1622

「東日本大震災に伴い発生した瓦れきの受け入れに関する決議」について

2012年3月22日 日本共産党和歌山市会議員団

2月定例市議会最終日に提出された標記決議について、日本共産党和歌山市会議員団は、他の会派とともに、提出者に加わり決議に賛成しました。

「瓦れき受け入れ決議」に賛成をした理由は、この決議により、国の無責任な瓦れき処理の地方自治体への押しつけを許さず、市に対しては安全基準を守らせるための歯止めをかけることができると判断したからです。

本決議は、『本市に対し、(1)科学的な知見により放射能の影響を検証し、放射線量の測定等十分な体制を整えるとともに、(2)現在、本市が処理している通常の廃棄物と判断されるものについては受け入れるよう決議する』と、市に2点について要望しています。

(裏面に続きます。)



みち子のひとりごと

お元気です

「まけないで」の柴田とよさんの2冊目の本「百歳」が出版されています。1911年6月生まれのとよさん、去年百歳になりました。一編、ご紹介しします。

百歳

私 来年になると

百歳になるの

奉公 戦争 結婚 出産

貧しい生活

いじめられたり 悩んだり

辛いことも 悲しいことも

あつたけれど

空は 夢を育み

花は 心に潤いを

風の囁きは 幾たび

私を

励ましてくれたことだろう

あつ という間の九十九年

両親も夫も お友だちも

みんな 逝ってしまった

でも 次の世で会えるわね

私 笑顔で会いたい

そして いろいろなこと

話してあげたい

百歳のゴールを

胸を張って駆けぬけよう

(二〇一〇年二月)

(表からの続き)

私たちは、被災地に寄り添い瓦れき処理に協力することと、市民の健康・安全を守ることをどのように進めるかということ由市会議員団会議で繰り返し討議を重ね考えました。この決議については、放射能汚染を心配する市内外の方から「反対してほしい」との要望が、市議会にも私たち議員団にも寄せられました。今後は、この決議を市が誠実に受け止め、放射線量の測定と、決議に沿った判断が正しく行われる体制を求めていきたいと思えます。同時に、国、東京電力に対しては日本共産党国会議員団と連携し、放射性物質で汚染された廃棄物の基準、放射線防護対策の抜本的な見直しと強化を引き続き求めていきます。

なお、東日本大震災で発生した瓦れき処理に対する日本共産党の見解は、3月18日付けしんぶん赤旗日刊紙に掲載されました。その要旨は、
災害がれきの処理は復興の大きな障害になっていること
がれき処理を被災地だけで行うことは困難
最大の障害は、政府が放射性物質への対策を真剣に行っていないこと
政府が自治体に処理させようとする放射線量の基準はとんでもないこと
「広域処理」にあたっては、政府がこうした基準や対策を抜本的に見直して、
住民の納得を得るとともに、受け入れ自治体に対しては財政面を含む全面的
支援を行う必要があること
を指摘しています。

請願について

- ・「消費税大増税に反対する意見書提出を求める請願」
- ・「公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願」

の二つが共産党議員が紹介議員となって提出されましたが、いずれも継続審議となりました。

議員発議（議員自らが提案する）決議案、意見書案について

決議については、

- ・「東日本大震災に伴い発生した瓦れきの受け入れに関する決議案」には、賛成しました。
- ・「LNG火力発電所建設促進に関する決議案」には、近隣住民の賛成を得られるものではないと反対しました。

意見書については、

- ・「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の制定を求める意見書案
- ・「障害者総合福祉法（仮称）」の制定を求める意見書案

の二つが提出されましたが、いずれも陳情があったものを議員発議したもので、賛成しました。